

## 作業標準

### 3M™ 線形視線誘導標ウェーブ・ライト・ライン ソフト ガードパイプ用 施工作业

スリーエム ジャパン株式会社

#### [適用]

本作業標準は、ウェーブ・ライト・ライン ソフト ガードパイプ用を施工する作業について適用します。

本作業標準は当社の推奨する作業方法を記したものであり保証する内容ではありません。

#### [準備する材料、道具]

- ・ ウェーブ・ライト・ライン ソフト ガードパイプ用
- ・ 中性洗剤
- ・ カッターナイフ
- ・ スクレーパー
- ・ ウェス
- ・ 定規、メジャー

#### [作業上の注意点]

- ・ 被着体となるガードパイプ表面の塗装がしっかり基材(鋼管)へ密着していることを確認して下さい。
- ・ 被着体に変形している箇所へは製品の施工をおやめ下さい。
- ・ 貼り付け作業は気温 13℃以上で行って下さい。

#### [被着体面の事前処理]

- ① 被着体表面面に付着しているほこり、砂、ごみ、汚れ等を中性洗剤とウェスを使用し、表面の清掃を行って下さい。
- ② 被着体表面面に異物の付着がある場合にはスクレーパー等を使用し、平滑な面にして下さい。
- ③ 製品サイズを考慮し、製品を施工する位置の始点と終点にテープ等を使い、作図して下さい。

#### [製品の施工]

- ① 製品の裏面の剥離紙を上下半分くらいまで剥がして下さい。(写真1参照)
- ② 施工位置に合わせながら、製品の片側より被着体へ圧着して下さい。(写真2参照)
- ③ 剥離紙を剥がしながら製品全体を圧着して下さい。

この時、製品の平坦な部分を圧着するようにして下さい。



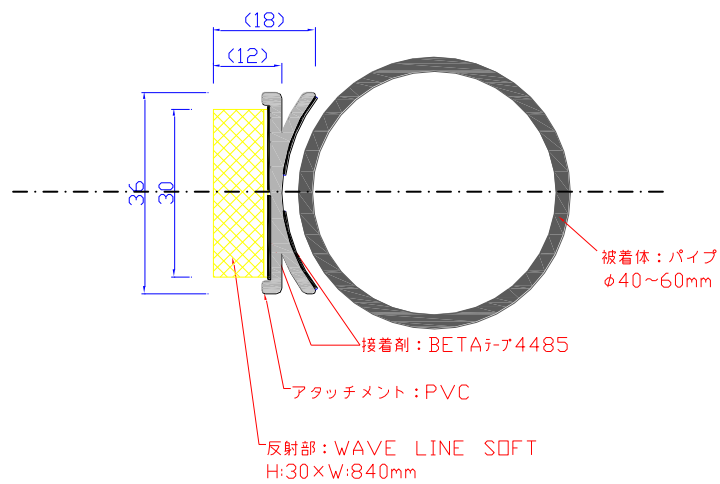
(写真1)



(写真2)

[その他]

- ① 製品は下記の図のように鋼管の中央に設置されたときに最高の性能を発揮しますので、施工の際に配慮ください。



- ② この製品は被着体となる鋼管が曲線となっている場合、曲線のφが2000mm以上の場合に施工が可能です。



- ③ 被着体となる鋼管表面の塗装/メッキの劣化がある場合にはプライマー処理することをお勧めいたします。  
この際、製品の施工箇所以外にプライマーが塗布されないように予めテープによりマスキングする事をお勧めいたします。  
また、プライマーに関しては C-100、P-48、P-50 が適しています。